

## 日本歴史時代作家協会 理事会 議事録

|             |  |
|-------------|--|
| 日 時         | 令和8年2月1日(日) 16:00~17:50  |
| 場 所         | meeting base つどい 新宿 room-C (新宿エルタワー 14F)   |
| 出席者<br>(理事) | 飯島一次、伊多波碧、加藤淳、橋かがり、久宗圭一、森川雅美、森田健司、理流(書記)、計8名<br>柏原弘幸(監査役)<br>(欠席者) 雨宮由希夫、藤原緋沙子、菊池仁、計3名 |
| 出席者<br>(他)  | 三田誠広(代表理事代行)<br>石井建志、稻葉稔、ねこ沢ふたよ  |

### 0. はじめに

理事(定数11名)の過半数の出席を得て、理事会は成立する。

今回は拡大理事会で、会員3名の出席を得る。

理事会は、久宗理事の司会、理流の書記で進行した。

### 1. 審議事項

#### ① 2026年度の役員人事案について

今期にて現理事及び監査役全員が任期満了となるため、来期の理事及び監査役を、本年6月開催予定の総会で選任することとなる。

6月の通常総会に役員関連人事案を提案する。総会での役員人事案が承認された後に発効するものとする。

#### ② 文学フリマ東京42のブース出店について

以下2点が承認される。

→前回(2025年11月)同様に2ブース4名席にて出店する(出店料15,200円)。

→出店に合わせて、協会オリジナルのアンソロジーを制作・販売に取り組む。(3月中旬までに掲載原稿を集め。スケジュールがタイトなので、無理な場合は次々回の2026年11月に向けて制作を進める)

#### ③ 法人化手続き推進について

法人化手続き推進については既に理事会承認されているが、今回はその手続きの進め方についての提案(添付資料①②参照乞う)

##### 1) 法人の種類について

会員事業(非営利)と営利事業を分けて税務申告ができるメリットがある  
「非営利型一般社団法人」にて取り進める。

- 2) 法人化の手順について

一旦、新・法人を設立し、今の任意団体である協会の資産と事業を引き継ぐ。
- 3) 今後の進め方について
  - (1) 総会での決議

協会として“法人化の承認”及び“解散と資産譲渡の決議”を行う。
  - (2) 定款の作成

現行の会則を基に、改めて法人の目的・名称・事務所所在地・会員制度・役員規定などを定めた定款を作成する。
  - (3) 公証役場での定款認証

公証人に定款が正当であることの証明を得る。
  - (4) 設立登記

法務局に設立登記申請書を提出する。(提出日が法人成立日となる)
  - (5) 事務引き継ぎ

現 協会の名義の銀行口座や諸契約(電子書籍関連、サーバー等)を法人名義に切り替える。
- 4) 手順についての提案

上記3) の「(1)総会での決議」を年次定時総会ではなく、会則第16条及び第17条に基づき臨時総会を開催して行うこと。  
→2026年3月に臨時総会を開くことで日程を調整することを決定。
- 5) 手続きに当たっての予算について

最低約12万円が必要だが、手続きを司法書士等の専門家に依頼する場合は対価(50,000~150,000円)が必要となり、計約30万円を見込む必要がある。

## 2. 報告事項

- ① 第2回女子会企画のご案内(橋理事)

・7月~9月の予定で、「中華エンタメ」のイベントを企画。ゲストスピーカーは千葉ともこさん、小島環さんを予定。
- ② 電子書籍出版の新サービス「歴史行路文庫 Neo」の紹介と進捗報告(理流理事)

日本歴史時代作家協会が提供する「電子書籍出版サービス」は、Amazon Kindle Direct Publishing (KDP) を利用し、会員が自身の作品を電子書籍およびペーパーバックとして刊行できる出版支援サービス。

本サービスでは、協会が新レーベル「歴史行路文庫 Neo」として出版の窓口を担い、KDPへの登録やロイヤリティ管理などをサポートする。一方で、原稿執筆や校正、表紙制作などの制作主体はあくまで著者本人とし、自立した電子出版を基本方針とする。

電子書籍本文の作成は Word すべて可能。

著作権は著者に帰属し、Amazon から支払われるロイヤリティは全額を著者に還元。歴史小説に限らず、ジャンルや分量を問わず、協会会員であれば利用可能。「まず一冊を世に出したい」「自分の作品を電子出版で試してみたい」会員のための、実務に即した電子書籍出版サービスだ。

現在、サービスの開始前のトライアルとして、新会員の 4 氏（上原徹氏、木山省二氏、あすみねね氏、ねこ沢ふたよ氏）の作品を「歴史行路文庫 Neo」にて制作中。2026 年 2 月から 4 月の刊行を目指している。

新サービスは、2 月にスタート予定で、メールおよび協会 Web サイトにて告知する。

- ③ 「ほんまる」にて、2月下旬より会員のサイン本の展示販売を開始予定のこと（理流理事）  
（会員に向けてサイン本の出品の告知を 2 月上旬に行い、出品本を募る）
- ④ 日本文藝家協会後援シンポジウム開催（森川理事）
  - ・告知チラシ完成。
  - ・近日中に司会の羽鳥好之氏と当会側で打ち合わせを行う。
- ⑤ 会報 12 号の進行状況報告（森川理事）
  - ・現在、初校校正中で 2 月 20 日ごろの発送を目指す。
- ⑥ 京都府が推進する「時代劇製作技術を国の登録無形文化財に」について（久宗理事）  
※補足資料参考乞う
  - ・まずは、同活動の賛同団体に入ることを目指す。（賛同そのものに費用は掛からない）

以上